



2007年8月23日

各位

上場会社名 株式会社ゼンテック・テクノロジー・ジャパン
代表者名 代表取締役社長 大谷省三
(コード 4296、大証ニッポソニューマーケット-ヘラクレス市場、スタンダード)
問合せ先 責任者役職名 営業担当 取締役
氏名 伊東清
(TEL 03-5298-8100)

**ゼンテック、日本市場 (ARIB) 向け 3 波デジタル放送受信再生の
プラグイン・モジュールを本格量産開始**

— フルデジタル放送対応 ARIB HDTV モジュールを新たに市場投入し、
短期間で 3 波デジタル放送対応の受信機の開発を実現します —

株式会社ゼンテック・テクノロジー・ジャパン (本社：東京都千代田区、代表取締役社長：大谷省三、以下、「ゼンテック」) は、ARIB (社団法人電波産業会) 規格に対応した 3 波 (地上デジタル、衛星 BS、衛星 CS 110°) デジタル放送受信のプラグイン・モジュール (以下、「ARIB 向けデジタル 3 波モジュール」) の本格的な量産を 8 月 31 日から開始いたします。既に複数の顧客があり、順次出荷を開始する予定です。

今回の「ARIB 向けデジタル 3 波モジュール」は、地上デジタル放送 (ISDB-T)、衛星 BS/CS110° 放送 (ISDB-S) のデジタル 3 波放送に対応し、更にデータ放送に利用される BML ブラウザを搭載可能な HDTV 受信モジュールです。この「ARIB 向けデジタル 3 波モジュール」は、本来受信機の開発に必要なインテグレーションやカスタマイゼーションなどの作業にかかる多大な開発コストを削減し、開発期間の短縮と顧客製品の早期市場投入を可能にするため、プラグインタイプのモジュールとして開発いたしました。

この「ARIB 向けデジタル 3 波モジュール」は以下の様な特徴を持っています。

1. ゼンテックが独自に開発した ARIB 向けデジタル放送標準規格 (ISDB-T/ISDB-S) 対応のデジタル TV に必要不可欠なコア・ソフト、ミドルウェア技術を予め最適化し組み込んでいます。
2. ARIB 規格デジタル放送特有のデータ放送である BML (Broadcast Markup Language) コンテンツの閲覧にも最新バージョンで対応しています。
3. デジタル家電特有の待機電力の問題を解決するためのパワーマネジメント機能を有し、省待機電力に対応しています。

以上の様に、この「ARIB 向けデジタル 3 波モジュール」は顧客製品の早期商品化を強く意識したものとなっています。

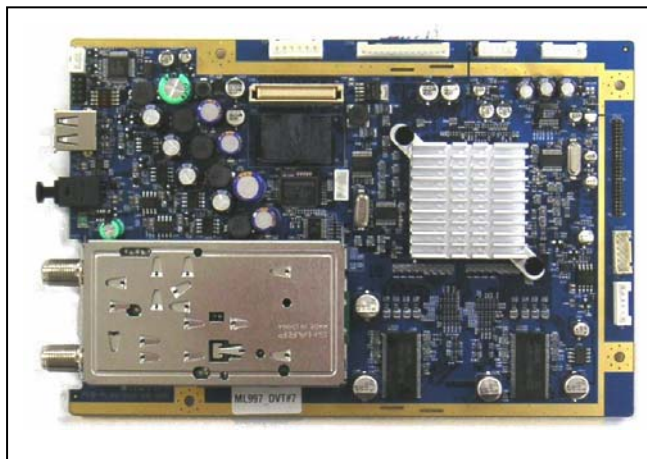


このモジュールを利用すれば、デジタル TV 受信機開発メーカは、LCD や PDP などの薄型表示パネル、あるいはブラウン管、DVD/HD レコーダなどに組み込むことにより、煩雑、複雑な開発作業工程を大幅に短縮でき、競争力のある 3 波デジタル放送受信機能を持つ製品を短期間で市場に投入することが可能になります。また既存のアナログ・モジュールとの接続を考慮して、各種信号をそれぞれに対応したコネクタ経由で直接取り出せるようになっており、そのまま外付けのデジタル・チューナーSTB（セット・トップ・ボックス）としても利用することができます。

日本のデジタル TV の標準規格である ARIB 規格、とりわけデジタル 3 波対応は北米やヨーロッパの規格に比べ複雑・高度な規格であるばかりでなく、技術的難易度も高く、製品開発には多大のノウハウを必要とします。海外のデジタル TV メーカをはじめ、デジタル TV 受信機能を持った複合機能製品などの開発メーカにとって、ARIB 規格のデジタル TV 受信ソリューションの入手は大きな参入障壁となっていました。ゼンテックのソリューションはこれらのメーカに問題解決の適切な回答を提供するものです。

ARIB 向けデジタル HDTV モジュールの価格、サンプル、および導入方法などに関しては、当社営業本部（e-mail:sales-info@zentek.co.jp）までお問い合わせください。

<ARIB向けHDTVプラグイン・モジュール>



主な仕様:

- 地上デジタル/BS・CS110 度デジタル放送対応
- コンポーネント HD/録画用コンポジット SD ビデオ出力
- データ放送対応の BML3.0 ブラウザ搭載
- モデム装備による双方向番組対応
- S/PDIF 出力
- シリアル通信によるコントロール
- GUI ベースの各種アプリケーションを実装済み
- 文字をきれいに表示するアンチエイリアシング機能を搭載
- EPG 対応
- サイズ 187x126x26mm

ゼンテックは、世界各国のデジタル TV ソフトのワンストップ・ソリューション・プロバイダとして、デジタル TV や STB に必要不可欠なコア技術である各種デジタル TV 放送標準規格（欧州アジア向け DVB-MHP、北米向け ATSC/PSIP、CableCARD、EIA-708B、OCAP、日本向け ARIB および BML ブラウザ、1Seg 放送、韓国向け T-DMB）に対応したソフトウェアならびにモジュールを、世界各国の大手家電メーカや半導体メーカ、受信機開発メーカにライセンス提供しています。



株式会社ゼンテック・テクノロジー・ジャパンについて

1997年に創業者である社長大谷省三により、世界のソフトウェア技術の頂点にある米国シリコンバレーに設立されたゼンテック・テクノロジー・インク(現在は連結子会社)を母体とし、2000年2月に本邦に設立されました。

ゼンテックは、デジタル家電事業、モバイル関連事業、ネットワーク関連事業と、これら事業の価値創造性を高める為に設けられた、戦略的投資事業の4事業を展開しています。最先端かつ高度な自社技術を保有しており、デジタルTV標準規格ミドルウェアのライセンス提供、ハードウェア製品の販売、携帯・カーナビ分野のソフトウェア開発のほか、システムインテグレーション、カスタマイゼーション、QA(Quality Assurance:品質保証)事業など、画期的な情報家電技術ソリューションなどを提供しております。また、ブロードバンド無線機器、およびセキュリティ・ネットワーク機器などの開発、販売、保守メンテナンスなども行い、各分野で優れた技術力を発揮し、戦略を展開しております。ゼンテックは各事業の高度な要素技術を融合させ、新たな製品、市場の創出を目指すと共に、日・米・シンガポールの拠点より世界に向け、ユビキタス社会の実現に貢献する事を使命としております。

さらに詳しい情報につきましては、<http://www.zentek.co.jp/>をご参照ください。

ARIBについて

ARIB:社団法人電波産業会(Association of Radio Industries and Business)は、通信・放送分野における電波利用システムの実用化およびその普及を促進し、電波産業の健全な進歩発展を図る観点から、電波の利用に関する調査、研究、開発、コンサルティングなどを行い、もって公共の福祉を増進することを目的とした、放送事業者、電気通信事業者、製造メーカーが参画する国内の電波利用に関する技術を標準化する団体です。

さらに詳しい情報につきましては、<http://www.arib.or.jp/>をご参照ください。

※記載された社名および製品名は各社の登録商標もしくは商標です。